
真実を知ってください
クラック・
コカイン
ベース
ボール
ジェリービーン
ナゲット
ロック
jp.drugfreeworld.org



この小冊子が制作された理由

薬物についてのさまざまな情報が氾濫しています。学校や街中、インターネットやテレビで。その中には正しい情報もありますが、そうでないものもあります。

薬物に関して耳にするほとんどのことが、実は売人からのものなのです。かつての売人たち曰く、「買わせるためならどんなでたらめでも言う。」

薬物についての実態と真実を知ればまともな決断を下すことができます。この小冊子は、そのために制作されたものです。あなたのために。

あなたのご意見、ご感想は貴重です。ですからこの小冊子について感じたことをお知らせください。**jp.DrugFreeWorld.org** にアクセス、または **info@drugfreeworld.org** までＥメールでご連絡ください。

クラック・コカインとは？



クラック・コカインは、粉末状のコカインからつくられる、強力で非常に依存性の高い興奮剤です。* 固まりや結晶の形で売られており、その色は黄色、桜色、白などさまざまです。クラックという名称は、熱して煙を吸うときにパチッと弾ける音を立てることから来ています。

1980年代に、クラックは米国で乱用される薬物となり、それ以降、北米、南米、ヨーロッパ、そして世界中の他の地域に広まりました。クラックは喫煙、または鼻から吸引することができます。クラックの喫煙は、脳に素早く到達し、即座に強烈なハイを作り出しますが、それは約15分しか続きません。クラックの喫煙は、非常に迅速に、時には最初の使用後でさえ、依存につながる可能性があります。クラックに依存している人々は、その最初のハイを維持しようとする絶え間ないサイクルに陥ります。

なぜなら、コカインは非常に高価であったため、「金持ちの薬物」と見なされていて、その一方でクラックは安い価格で販売されており、十代の若者でも買うことができます—最初だけは、です。いったん依存するようになると、自分の習慣をもっと満たすためにさらに必要となり、費用は急上昇します。

* 粉状のコカインについては、この小冊子シリーズの「真実を知ってください：コカイン」を参照してください。



通称：

ラック・コカインの通称には、以下のようなものがあります：

- アップル・ジャック
- ベース
- バズーカ
- キャンディー
- クラウド
- クッキー
- クラック
- クラック・コカイン
- クランチ & マンチ
- デビル・スモーク
- ダイス
- ファットバッグ
- フリーベース
- フレンチフライ
- グロー
- グラベル
- グリット
- ヘイル
- ハード・ホットケーキ
- アイス・キューブ
- ジェリービーン
- クリプトナイト
- ナゲット
- ペースト
- ロウ
- ロックス
- ロックまたはロクサーヌ
- スクランブル
- スリート
- シュガー・ブロック
- トループ



「私はほぼ1年間、クラック依存者と暮らしていました。私は彼のことを心から愛していました。でも、もう限界でした。

警察に呼び止められ、調べられました。午前6時に強制捜査を受けました。元恋人は絶え間なく盗みを働き、パイプを手放すことができませんでした。

クラックはあのヘロインよりずっとたちが悪いドラッグだと思います。たった1回吸っただけで、人の道を外れた残忍な人へと変えてしまうのです。」―オードリー

国際的な統計

米国では、12歳以上の約778,000人が過去1年間にクラックを利用したと報告しています。

調査によると、米国では4,200万以上の人々（人口の12パーセント以上）が人生で何らかの形態のコカインを使ったことがあり、1,010万以上が特にクラックを使用していることが示されました。この同じ調査で、調査前の1ヶ月間にクラックを利用している人の数は14年間で最高であることが分かりました。

ヨーロッパでは、クラック・コカイン依存治療を求める新規患者の数は、5年間で42パーセント増加しました。

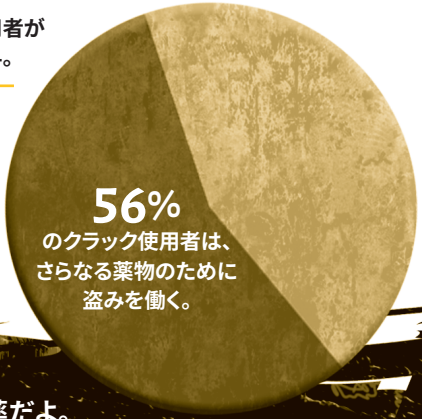
国際的にも、初めて利用する人が若年化しているという証拠があります。例えば、ブラジルでは、初めてクラックを利用するかなりの数が、12歳や13歳であり、その関連傾向を示しています。



クラック & 犯罪

87% のクラック使用者が
依存のために暴力に関与。





56%
のクラック使用者は、
さらなる薬物のために
盗みを働く。

「このクラックってやつは、まったく自分勝手な薬だよ。
人の人生を乗っ取る。クラックは瞬く間に人を捕らえる。
まったく時間はかからない。こいつの禁断症状は半端じゃない。
それに効き目が短いから、どんどん使用回数が増えるんだ。」
—ピーター

なぜクラック・コカインは そんなにも依存性が高いのか？

クラック・コカインは、最も依存性のある違法薬物の1つです。それは脳内の快楽中枢に影響を及ぼし、強烈な偽りの多幸症を引き起こします。ハイはとても短いので、使用者は気分を保とうとするために繰り返し喫煙します。

最初の使用は、その人次第かもしれませんが、繰り返し使用するとすぐに自制心や判断力が弱まり、止めるのが難しくなります。時間が経つにつれ、依存が進行し、クラックがどれほどの害を及ぼそうとも、それが何よりも大切なものとなります。




「私は毎週2千ドルもコカインにつぎ込んでおり、この呪縛から自由になりたいと願っていました。」
―ジェニファー



クラック・コカインの影響

クラック・コカインの短期的な影響は何か？

クラックは短期間の強烈なハイを引き起こし、その後、深い憂うつ、激情、そしてさらなる強い渇望が続きます。使用者は、しばしば適切に食事をしたり睡眠を取ったりせず、心拍が速くなり、筋肉のけいれんや発作を伴う可能性があります。それは、使用者に偏執症、*怒りや敵意、不安を—ハイでないときでさえ—感じさせることがあります。

クラック使用者は、心臓発作、脳卒中、発作、呼吸不全を起こす危険性が高くなり、突然死に至る場合もあります。

クラック喫煙には、さらなる健康上のリスクも伴います。多くの場合、他の化学物質が混合されており、燃やすと有毒な煙を発生させます。短いクラック・パイプは、熱いパイプが唇に押し付けられることで、ひび割れや水ぶくれができ、「クラック・リップ」として知られている状態を引き起こすことがあります。

* 偏執症：証拠や正当化なしに、他の人々に対して極端に、そして不合理に疑念を抱いたり、不信感を抱いたり、恐れたりすること。

クラック・コカインの長期的な影響は何か？

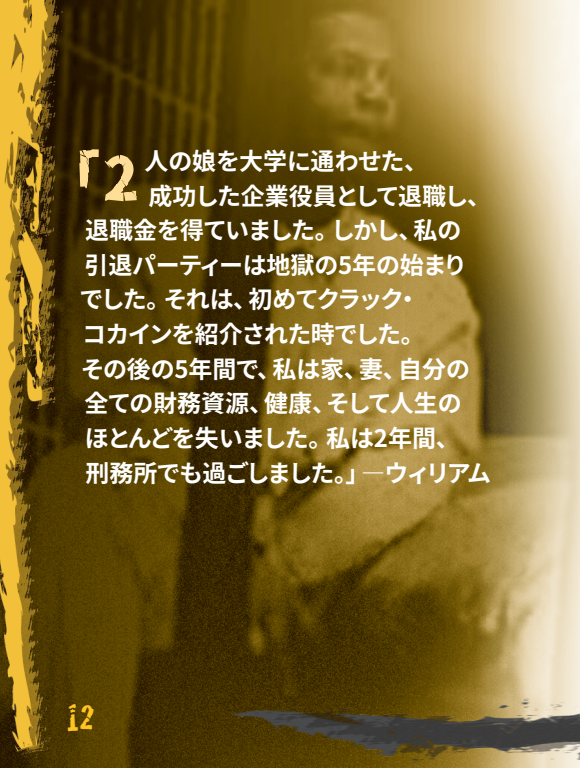
収縮した血管、増加した体温、上昇した心拍数、高血圧、てんかん発作や心筋梗塞のリスクなど、コカイン使用に関連するリスクに加えて、クラック使用者は咳、息切れ、肺の外傷や出血などの急性呼吸障害を経験する可能性があります。



「僕の頭はクラック・コカイン一色だった。薬をやるよと誰かに言われたら、飛びかかってそれを奪い取るほどだった。それは困っている人に助けを与えるように見せかけて、実際には大きな負担を課すものだ。

数週間も吸い続けて、ついに最悪の状況に至った。ある日ふと、もう十分だ、もうこれ以上こんな生活は続けられないと思い、自殺を試みた。

僕はどうにかして立ち向かわなければならない。自分の生存本能が働いてくれることを願う。」ージョン



「2人の娘を大学に通わせた、成功した企業役員として退職し、退職金を得ていました。しかし、私の引退パーティーは地獄の5年の始まりでした。それは、初めてクラック・コカインを紹介された時でした。その後の5年間で、私は家、妻、自分の全ての財務資源、健康、そして人生のほとんどを失いました。私は2年間、刑務所でも過ごしました。」―ウィリアム

クラック・コカインの使用の長期的な影響には、心臓や肝臓、腎臓などの深刻な損傷が含まれます。また使用者は感染症にもかかりやすくなります。

日常的に摂取し続けると睡眠障害や食欲減退、栄養失調を引き起こします。クラックを喫煙している人は、攻撃的で、偏執症的な振舞いをするようになることがあります。

クラック・コカインは脳が化学物質を作り出す工程を邪魔するため、使用者は「正常さ」を保つためだけでも、さらなる薬物を必要とします。他の薬物の場合と同様、クラック・コカイン依存になった人は、生活の他の面についての関心を失います。

クラックの効き目が切れるとひどい憂うつ感を引き起こします。そのような落ち込みは使用を重ねるたびに悪化していきます。禁断症状があまりにもひどくなると、人は薬物を手に入れるためには何でも ― 殺人さえも辞さないほどになることがあります。そして、もしクラックを得られなければ、ひどい憂うつが中毒者を自殺に追い込む可能性があります。

身体や精神への影響

短期的な影響

クラック・コカインは喫煙によって使用されるため、その影響は粉末状のコカインよりも早く現れ、しかもより強力です。短期的な影響には以下が含まれます:

- 食欲減退
- 心拍数、血圧、体温の上昇
- 血管の収縮
- 呼吸数の増加
- 瞳孔拡大
- 睡眠障害
- 吐き気
- 極端な興奮
- 奇怪でとっぴな、時に暴力的な行動
- 幻覚症状、過度の興奮、過敏性
- 皮膚の下に虫がはうような触覚の幻覚症状
- 不安と偏執症
- 抑うつ
- 薬物への激しい渇望
- パニック、精神異常
- 過剰摂取は(一度でさえ)けいれんや卒中、時に死をもたらすことがあります

長期的な影響

- 耳および脳血管の永久的な損傷
- 心臓発作、卒中、死につながる高血圧
- 肝臓、腎臓、肺の損傷
- 胸部の強い痛み
- 呼吸器の障害
- 注射の場合、伝染病やはれもの
- 食欲不振、体重の減少
- 重度の虫歯
- 聴覚や触覚の幻覚症状
- 性的機能不全、生殖障害および生殖不能(男女とも)
- 周囲を正しく認識できなくなる、無気力、混乱から来る極度の疲労
- 過敏性や情緒不安定
- 危険な行動の増加
- 一時的な精神錯乱あるいは精神異常
- ひどい憂うつ感
- 耐性と依存

子供たち、それは
何の罪もないクラック・コカインの犠牲者たち

クラック・コカインの最も悲惨な犠牲者は、妊娠中にこの薬物を使用した母親から生まれた新生児です。母親と赤ちゃんの健康に焦点を当てた非営利団体であるマーチ・オブ・ダイムズは、妊娠中に（どのような形であれ）コカインを使用することは、母親と子どもの両方に害を及ぼす可能性があると報告しています。これは、生命を脅かす可能性のある重度の出血を引き起こし、早産または流産につながる可能性があります。クラックにさらされた赤ちゃんは、出生時に禁断症状を経験し、視力や聴力の問題、行動障害、学習障害、集中力の問題など、長期的な健康問題に直面する可能性があります。



「クラック・コカインを吸うように勧められた時から、全ての歯車が狂い始めました。私は当時本当に親しい友人だと思っていた何人かと外出しました。彼らがクラックについて言っていたことは本当でした。初めて使用した時の『ハイ』は、その後二度と得ることはできない。そのせいで私は完全に破滅しました。私は完全にクラックのとりこになってしまいました。

クラック・コカインは、私の評判、自負心、そして自尊心を粉々にしました。」―ダイアン

クラック・コカイン：簡略史



コカの葉の使用は、3千年以上昔にさかのぼります。クラック・コカインは、結晶化したコカインであり、コカイン・ブームの1970年代に開発されました。その人気は1980年代半ばに高まりました。

アメリカ合衆国麻薬取締局 (DEA) によると、1970年代後半までに、大量のコカインの粉がアメリカ合衆国に送り込まれ、それによって価格が80パーセントも下がりました。利益を維持するために、薬物の売人は粉末コカインを、喫煙することのできるクラックに変えました。

クラックは売人にとって理想的なドラッグです。それは瞬時にハイをもたらし、使用者は非常に短期間で依存するようになるからです。

この形態は、より少なく、より手頃な価格で販売され、より多くの人々にリーチし、より大きな利益を生み出しました。

1980年代までに、ロサンゼルス、マイアミ、ニューヨーク、デトロイト、そしてカリブ海地域などでその使用が報告されるようになりました。

クラック使用の最も大きな急増は、1984年から1990年にかけてのクラックの流行中に起こり、コカイン依存が著しく増加しました。1985年、コカイン常用者の数は440万人から600万人に急増しました。



1986年の終わりまでに、28の州とワシントンDCでクラックが見つかりました。1年後、クラックの流通を報告しなかったのは、4つの州だけでした。それ以来、クラックの使用はアメリカ大陸、ヨーロッパ、そしてその他の地域に広がっています。

2002年、英国は自国のクラック流行を経験。依存症に対する援助を求める人々の数は、その年50パーセント近く増加しました。英国は、2000年から2006年の間にクラック押収量が74パーセント増加したと報告しています。

より最近の報告によると、過去1ヵ月間にクラックを使用した人数は14年ぶりのピークに達しました。



薬物の売人がよく使う誘い文句

十代の若者へのアンケートによると、薬物に手を出すようになったそもそもの理由として、55パーセントが「周りの雰囲気に流された」と回答しています。彼らには「ダサい」と思われたくない、「カッコよく見られたい」、という願望があります。薬物の売人はそのことをよく承知しています。

売人たちは、友だちのような顔をして近付き、親切を装って「いい気分になれるもの」を教えてあげると持ち掛けてきます。その薬物を使うと「周囲から浮いてると思われなくなる」とか「仲間の中で目立てる」というのです。

薬物の売人はお金だけが目当てです。薬物を買ってもらうためなら、どんな嘘でも言います。例えば「クラックを1回やれば、何の悩みもなくなるよ」などと言ってくるでしょう。

売人は「お客さん」が払うお金にしか関心がありません。
薬物のせいでその人の人生が台無しになっても気にしません。
かつての売人たちは、薬物を買う人を「いいカモ」としか見ていなかったと証言しています。

薬物についての真実を知ってください。そうすれば自分自身で正しく判断できるはずです。



真実を知ってください：薬物

薬物は基本的に毒です。その作用は、摂取する量によって決まります。

少し摂取すると、活動をより活発にする中枢神経刺激剤として作用します。多めに摂取すると、活動を抑制する鎮静剤として作用します。さらに多量に摂取すると毒となり命を奪います。

これはどの薬物にも当てはまります。こうした作用を引き起こすのに必要な量が違うだけです。

それだけではなく、多くの薬物には人のマインドにも影響を及ぼす弊害があります。薬物を取っている人が自分の周囲で起こっていることを知覚しても、それは歪んだものになってしまう可能性があります。その結果、その人の行動は奇妙だったり、不合理であったりするかもしれません。暴力的になることもあるでしょう。

薬物は、全ての感覚を遮断します。望ましい感覚も望ましくない感覚もです。そのため、短期的には痛みを和らげるために役に立ちますが、同時に人の能力や機敏さを消し去り、思考を不明瞭にします。

医薬品は、身体の働きを良くしようとして、何かを速めたり、遅くしたり、身体の働きを変えることを意図した薬物です。時には必要ですが、薬物であることに変わりはありません。中枢神経刺激剤や鎮静剤といった薬物を取り過ぎれば命を落とすこともあります。したがって、医薬品は規定通りに使用されない場合、違法薬物と同様に危険なものになり得ます。


本当の解決策は、
事実を認識し、最初から
薬物など使用しないことです。

なぜ人は薬物を取るのでしょう？

人が薬物を取る理由は、自分の人生を変えたいと思うからです。

若い世代の人たちが薬物を取る理由には、以下のものがあります。

- 周りとうまくやっていきたい。
- 問題から逃避、またはリラックスするため。
- 退屈を紛らわすため。
- 大人になったような気がするから。
- 反抗するため。
- どんなものか試してみたい。

こういった若者は、薬物が問題を解決してくれると思っているのです。しかし、結局のところ薬物は問題にしかなりません。

自分の問題に直面することが困難なこともあるでしょう。しかし、薬物によって解決しようとしている問題よりも、薬物を使用した方が常に悪い結果を招きます。本当の解決策は、事実を認識し、最初から薬物など使用しないことです。



この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズは、これまでに20以上の言語で出版され、世界中で何百万部も配布されてきました。



新しい薬物が次々と世の中に出回っており、その影響に関する新たな情報が知られるようになっています。本シリーズはそうした新しい情報を盛り込んだ最新版です。

これらの小冊子シリーズは、カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする非営利の公益法人「薬物のない世界のための財団」によって出版されています。

財団は、その国際防止ネットワークを通して各種教育資料や助言を提供したり、調整を行ったりしています。また、青少年や保護者、教育者やボランティア団体、政府機関ばかりではなく、薬物乱用のない人生を送ることに関心のある人なら誰とでも協力しています。

参照文献：

この小冊子をまとめるのに使われた参照文献：jp.DrugFreeWorld.org/refs

写真：表紙：DEA(drugs); 表紙内側：Corbis; 5、8ページ：DEA(drugs); 12ページ：InfoImagination.orgによる提供

知っておくべき真実

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズには、マリファナ、アルコール乱用、フェンタニル、危険ドラッグ、エクスタシー、コカイン、クラック・コカイン、覚せい剤、有機溶剤 / 吸入ガス、ヘロイン、LSD、処方薬乱用についての正確な情報がまとめられており、読者が自分の意志で薬物のない人生を送ることができるように役立つ内容になっています。

無料オンライン・コースを行う、または地域の薬物のない世界支部とつながるには、jp.DrugFreeWorld.org にアクセスしてください

薬物のない世界のための財団
jp.DrugFreeWorld.org • info@drugfreeworld.org
1 (888) 668-6378 • 1 (818) 952-5260

この小冊子をダウンロードするには ここをスキャン

© 2025年 Foundation for a Drug-Free World. 不許複製。Truth About Drugsおよび薬物のない世界のための財団のロゴは Foundation for a Drug-Free Worldが所有しており、使用にあたってはその許可が必要です。#S001562 - Japanese